

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	全体的な印象が無機質で家庭的な暖かさに欠ける。	ハード面は変更できないため、布や毛布等温かみのある素材の装飾品等を取り入れていく。	入居者と共に行う手工芸を更に取り入れ、作品を展示するなどして、ぬくもりを感じられる空間作りに取り組む。11月には手作りのクリスマスリースを全員に作ってもらい壁面を飾る予定である。	3ヶ月
2	18	外出の機会が少ない。	外出ボランティア等を活用し、無理のない範囲で外出の機会を増やす。	民生委員の奥様からボランティア活動に興味があるというお話をいただいている。最初は見学、訪問から始めてもらい、徐々に外出ボランティアとしての協力につなげていく。	7ヶ月
3	2	地域資源として定着していない。	地域にとって必要とされる事業所を目指すために、積極的な発信を行っていく。コミセン、町内会とのつながりを密にしていく。	10月29日にコミセンよりボランティア訪問が予定されている。更にコミセンとのつながりを強めていく。昨年に続き、町内向けに新聞を発行する。介護や高齢者医療の気軽な相談窓口であること、関係図書の貸し出しを行っていることなどをアピールしていく。	12ヶ月
4	14	ミーティングやカンファレンス等、入居者と近い場所で開催されている。	基本的に職員全員参加で行っているため、見守りをしながら行う現状である。これまでも充分配慮しながら行っていたが、更に最新の注意を払っていく。	毎月の開催は困難であるが、夜間の開催も視野に入れていく。個人情報保護やプライバシー保護など折に触れ職員に伝達し、配慮を怠らない努力を継続する。	2ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。